



## 法人名 特定非営利活動法人埼玉ハンノウ大学

## 事業計画書

事業名	埼玉ハンノウ大学リバービーチ・キャンパス事業
種類	金紋世界鷹（みどりと川の再生環境保全事業）
1. 事業の目的	本事業は県の新規事業「SAITAMA リバーサポーターズプロジェクト（リバサポ）」の応援事業として、地域の川の保全や持続可能な環境づくり、さらに「川の国埼玉」に名に相応しい、自然景観保護の実践と啓蒙を促すことを目的としています。
2. 事業で取り組みたい地域や社会の課題	<p>(1) 法人の設立目的・これまでの活動・成果</p> <p>①設立目的：飯能市の全体を大学の「キャンパス」に見立てることでメディア化し、まちに関わるすべての層が参加できる「授業」を出会いの場として、課題や志を持った市民・企業・行政のネットワークづくりを行なう。こうした「地域密着型の生涯学習」の場づくりを通じた「新しい地域コミュニティ」の創出によって、地域の活性や様々な地域課題の解決に寄与することを目的としている。また同時に、人口減少にあった飯能市のブランドイメージを高め、市への移住者を増やすこと。そのための観光の振興を図る活動にも力を入れている。</p> <p>②活動：昨年9月の開校以来、25回の自主授業を実施。コロナ禍にも拘らず、ハンノウ大学で学んだ人は159人。学生登録者数も100人を超えた。</p> <p>③成果：学びを通じて人と街や地域をつなぎ未来を「共に創る」地域共創プラットフォームを目指し、地元行政、企業、NPOなど様々な団体と共に活動することができ、多くの市民に支持されるようになった。</p> <p>(2) 課題</p> <p>①市の重要な観光資源であり、市民の憩いの場でもある飯能河原の利用者による環境及び景観破壊が顕著になってきた。</p> <p>②地域でこれまで河原の美化活動などに貢献してきた市民団体の高齢化。</p> <p>(3) 重要性等</p> <p>今年度の本事業の活動の場となるのは、埼玉県飯能市にある「飯能河原」です。ここは西武池袋線飯能駅、もしくは JR 八高線東飯能から徒歩 10～20 分圏内にあり、都心から電車と徒歩で容易に辿りつける自然美溢れた河原として、年間を通じて多くの川遊びやキャンプを楽しむ人々で賑わっている場所です。その半面、GW 中や夏休み中は利用客のマナーの悪さ、ゴミの放置などが問題となっています。本事業では「都心に一番近い自然豊かな川を守り育てる」こと</p>

	<p>を掲げ、市民が憩う河原（リバービーチ）を大学のキャンパスと見立てて、地域住民が理想とする、清く美しい川づくりをめざし、現状の環境を変えていきたいと考えています。</p>
<p>3. 具体的な事業内容</p>	<p>河川および河原（＝リバービーチ）を大学のキャンパスとして見立て、イベントを「授業」として開催します。</p> <p>第1回リバービーチ・キャンパス授業 【川「と」あそぶ vol.1】</p> <p>①趣旨：飯能河原に棲息する水生生物を調べる。入間川の自然生態系の現状を知る内容。河原周辺のゴミ拾いも授業の最後に全員で行なう。</p> <p>②時期：8月中～下旬</p> <p>③対象者：主に就学児童と保護者をターゲットとしているが、すべての年代層も対象とする</p> <p>④場所：飯能河原</p> <p>⑤参加見込人数：15組</p> <p>⑥（外部）協力者・団体など：埼玉県水環境課・飯能市・飯能商工会議所・奥むさし飯能観光協会・西武鉄道 ほか 以下、④ ⑤ ⑥ は全て共通</p> <p>第2回リバービーチ・キャンパス授業 【川「と」あそぶ vol.2】</p> <p>①趣旨：川で遊びながら、川本来の楽しみ、自然を学ぶ。 例えば、笹船を作って流す。川にロープを張って横断体験、流れの早い所とそうでないところの違いを知る。箱メガネを作って川底をみる等、楽しむ。河原周辺のゴミ拾いも授業の最後に全員で行なう。</p> <p>②時期：9月中</p> <p>③対象者：主に就学児童と保護者をターゲットとしているが、すべての年代層も対象とする</p>  <p>第3回リバービーチ・キャンパス授業 【きれいな川は、人の心もきれいにする-リバービーチ・ワーキング・ホリデー vol.1】</p> <p>①趣旨：写真の大きな古い掲示板の美化と利活用。この掲示板は、現在違法なゴミ捨て場になっています。この看板をオシャレにすることでゴミ放置の抑止力の役を担わせ、さらに飯能の魅力を紹介する場として利用できる事を目指します。</p> <p>②時期：10月中の週末いずれか1日ないし2日</p> <p>③対象者：すべての年代層を対象とする</p>

	<p>第4回リバービーチ・キャンパス授業 【川「と」あそぶ vol.3】</p> <p>①趣旨：「音」に着目して川を楽しむ音さんぽ。水の音も場所によって様々、石と水、石と石などを体感で楽しむ。ゴミ拾いイベントと合わせて行う。</p> <p>②時期：11月中</p> <p>③対象者：主に就学児童と保護者をターゲットとしているが、すべての年代層を対象とする</p> <p>第5回リバービーチ・キャンパス授業 【きれいな川は、人の心もきれいにする-リバー・ビーチ・ワーキング・ホリデー vol.2】</p> <p>①趣旨：河原の遊歩道沿いを自然物（例えば西川材）で作ったオーナメントで飾り、インスタ映えするスポットを作る。ゴミ拾いイベントと合わせて行う。写真はオーナメントの一例</p>  <p>②時期：12月中</p> <p>③対象者：すべての年代層を対象とする</p> <p>リバービーチ・キャンパス研究集会 vol.1 【リバービーチ・キャンパスって、どうだった？】</p> <p>①趣旨：活動の振り返りと今後に向けてのワークショップ</p> <p>②時期：1月中～下旬</p> <p>③対象者：活動に参加したすべての年代層</p> <p>④場所：埼玉ハンノウ大学本キャンパス</p> <p>⑤参加見込人数：10～15名</p> <p>⑥（外部）協力者・団体など：埼玉県水環境課・飯能市・飯能商工会議所・奥むさし飯能刊行協会 ほか</p> <p>リバービーチ・キャンパス研究集会 vol.2 【みんなで作る、リバービーチ構想 2022】</p> <p>①趣旨：今年度活動の発表会と次年度計画会議</p> <p>②時期：2月中～下旬 以下、1月と同じ</p>
<p>4. 具体的な事業の実施計画</p>	<p>第1回～第5回授業について</p> <p>①実施までの準備 2021年7月～ プロジェクトチーム立ち上げ、各協力団体へ後援要請 チラシ等制作、ホームページ更新、SNSなどによる広報開始 各イベント（授業）実施1～2ヶ月前から集客開始</p> <p>○事業のスケジュール</p>

	<table border="1"> <tr> <th>時期</th> <td></td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>プロジェクトチーム立ち上げ・広報開始</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>第1回リバービーチ・キャンパス授業開催</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>第2回リバービーチ・キャンパス授業開催</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>第3回リバービーチ・キャンパス授業開催</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>第4回リバービーチ・キャンパス授業開催</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>第5回リバービーチ・キャンパス授業開催</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>リバービーチ・キャンパス研究集会 vol.1</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>リバービーチ・キャンパス研究集会 vol.2</td> </tr> </table> <p>○広報計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシ（5000枚）、ポスター（50枚）については、飯能市の窓口のほか地元商店街、公民館、また西武鉄道各駅等に配布、掲示をお願いする。</li> <li>・飯能市のイベントに参加し、「飯能河原の利活用&amp;清掃事業」の広報を併せて行う。</li> <li>・ワークショップによる利活用案は、地元のローカル紙に掲示させてもらい、さらに将来の活動の意見を募る。</li> </ul>	時期		7月	プロジェクトチーム立ち上げ・広報開始	8月	第1回リバービーチ・キャンパス授業開催	9月	第2回リバービーチ・キャンパス授業開催	10月	第3回リバービーチ・キャンパス授業開催	11月	第4回リバービーチ・キャンパス授業開催	12月	第5回リバービーチ・キャンパス授業開催	1月	リバービーチ・キャンパス研究集会 vol.1	2月	リバービーチ・キャンパス研究集会 vol.2
時期																			
7月	プロジェクトチーム立ち上げ・広報開始																		
8月	第1回リバービーチ・キャンパス授業開催																		
9月	第2回リバービーチ・キャンパス授業開催																		
10月	第3回リバービーチ・キャンパス授業開催																		
11月	第4回リバービーチ・キャンパス授業開催																		
12月	第5回リバービーチ・キャンパス授業開催																		
1月	リバービーチ・キャンパス研究集会 vol.1																		
2月	リバービーチ・キャンパス研究集会 vol.2																		
5. 事業の実施体制	<p>○事業の実施について</p> <p>①総括責任者：小野 麻理（NPO 法人埼玉ハンノウ大学学長）</p> <p>②連絡責任者：デニン実花（NPO 法人埼玉ハンノウ大学運営スタッフ）</p> <p>③現場責任者：長谷川 幸子（NPO 法人埼玉ハンノウ大学理事）</p> <p>④経理担当者：高林鮎太（NPO 法人埼玉ハンノウ大学運営スタッフ）</p> <p>⑤広報担当者：小野 麻理（NPO 法人埼玉ハンノウ大学学長）</p>																		
6. 来年度以降どのように事業を継続し発展させていくか	<p>今年度は飯能河原を「リバービーチ・キャンパス1号地」として活動の場とするが、来年度以降は飯能市内の入間川上流や高麗川なども「リバービーチ・キャンパス2号地、3号地」として活動の場を広げてゆきたいと考えている。「授業」内容も山間地の清流や溪谷を「教室」と見立て、初年度とは異なるプログラムを加えることにより、さらに多くの市民に、みどりと川の再生環境保全への理解を深めてもらい、次世代へ繋げていくような息の長い事業として発展させていきたい。</p>																		
7. 今回の事業が他の団体、行政等が実施する同種の事業と比べて優れていること	<p>河川および河原を大学のキャンパスとして見立て、イベントを「授業」とすることで、これまでの団体や、行政等が実施していた川関係の様々なイベントより、参加者の知的好奇心を刺激し、文化的・教育的にも意識が高く、幅広い年齢層が参加しやすい事業であると同時に、地元観光協会や地域振興関係団体がターゲットとしたい、生産年齢層にもスマートなイメージで参加してもらえらる点で、優れていると考えられる。</p>																		

